

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会会長賞

インバウンドスポーツ 合宿による地域活性化

Jリーグクラブも参画!スポーツの力で地域を盛り上げる!!

主催：一般社団法人アントラズホームタウンDMO
<https://www.antlers-dmo.com/>

茨城県県東の鹿行地域で、スポーツツーリズムを中心に地域振興を行うアントラズホームタウンDMOは、海外からのインバウンドスポーツ合宿事業を行っています。鹿行地域は日本の玄関でもある成田空港がアクセスが良く、クラブワールドカップの健闘やACL優勝によって世界的に知名度を上げている鹿島アントラズのホームタウンでもあり、地域内に100面以上のサッカーグラウンドを有している合宿地のメッカでもあることから、インバウンドスポーツ合宿の事業を行う上でとてもポテンシャルが高い地域だと考えています。

設立初年度の2018年度から9カ国(中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、タジキスタン、スリランカ、東ティモール、キルギス)から合宿受入を行い、合計1,596の宿泊創出を実現しました(日本人受入も含めると2,000宿泊超)。立ち上がりとして想定を超える合宿受入数で、各自治体や宿泊施設からも大きく喜ばれ市民からも注目を集め始めています。訪れたチームと地元チームの交流戦を行うなど、育成年代の国際交流の場として市民参加の機会も生まれています。インバウンドスポーツ合宿という国内でも前例のない事業ですが、継続的に発展させ、今後は更なる地域振興に繋げてまいります。



電話：0299-77-9500 メール：info@antlers-dmo.com
担当者：大輪 祐司

経済産業省商務・サービス審議官賞

スミセイ“Vitality Action”

「たいせつな人とカラダを動かそう!」

主催：住友生命保険相互会社

<http://www.sumitomolife.co.jp/sva/>

住友生命では、本業を通じて「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組んでおります。この取り組みを「CSVプロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、日本の健康寿命の延伸を目指しています。

スミセイ“Vitality Action”は、このCSVプロジェクトの柱のひとつ、「社会全体への健康増進の働きかけ」の具体的な社会貢献事業として、2017年度の住友生命創業110周年の節目にスタートしたプロジェクトです。

本プロジェクトは、1つの組織だけでなく、自治体や財団、研究者、アスリート等様々な皆さまのご協力を得ながら健康寿命の延伸を推進していく「コレクティブインパクト」という手法を活用しており、趣旨に賛同いただいた様々な種目のトップアスリートを講師にお迎えし、全国110箇所で開催し、健康増進に向けた「行動促進」を図っています。また、弊社関連財団と連携し全国にて“健康”をテーマとしたセミナー・イベントの開催や、啓発冊子の配布等を通じて健康増進への「理解促進」を図るプロジェクトとなっています。



電話：03-5550-4332 メール：atusi_uga@am.sumitomolife.co.jp
担当者：宇賀 篤史

スポーツ振興大賞

泳ぐ社会貢献 プール・ボランティア

水の世界もバリアフリーに!

主催：認定NPO法人プール・ボランティア
<https://www.pool-npo.or.jp/>

プール・ボランティアは、1999年に大阪で設立した日本で最も古いスポーツNPO、事業型NPOです。「水の世界もバリアフリーに!」を合言葉に、今では年間延べ約4,000名の障害者を延べ4,000名を超える「泳げるボランティア」がマンツーマンで水泳指導をしています。職員は元水泳選手であり、ビジネスマンであり、障害者に関しては全くの「ど素人」だからこそできるユニークな取り組みが特徴です。障害者専用プールを使わず一般の市民プールで泳ぐ、保護者は一緒に入水しない、完全マンツーマン体制、どんな障害でも受け入れる、障害者は最新のおしゃれな水着、スポンサー名の入ったお揃いのスイムキャップを着用、また、車いすに乗ったままプールに入ることができるプール用車いすを独自に製作したり「自宅からプールまでの引率」「お着替え」「プール指導」の分業制などを取り入れたりしています。他にも、東京都庁福祉保健局から特別な許可をいただき「ヘルプマーク・スイムキャップ」を考案して全国に無償配布しています。大阪マラソンのオフィシャル寄付先団体に4年連続採択され、昨年の2018年には「認定NPO」を取得しました。「プール・ボランティア」は、登録商標です。



電話：06-4794-8299 メール：pv@pool-npo.or.jp
担当者：織田 智子

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長賞

廃校をスポーツ合宿施設に再生し スポーツツーリズムの拠点に

民間主導のスポーツによる地域活性化生まれ変わる

主催：株式会社銚子スポーツタウン
<http://choshi-sportstown.com>

35年前に90,000人の人口が、今年は62,000人を下回りました。2014年5月、NPO法人銚子スポーツコミュニティを設立し、観光とスポーツの融合による地域活性化の事業を自分たちで企画実行しました。銚子市内には、スポーツ者向けの宿泊施設がない事に気がつき、そのニーズが確実にあることがわかりました。1965年夏の甲子園準優勝投手の木樽正明さんが、故郷の銚子市に戻ってきました。銚子市の野球を復活させ、地域活性化をとの思いでした。我々と意気投合し、廃校となった旧市立銚子西高校を視察に行き、それがスポーツ合宿施設にリノベーションが出来ることに気づき、企画書を作成しました。

NPO の仲間は、始めは反対者もいましたが出資し、銚子市が半分を出資する株式会社銚子スポーツタウンを設立。銚子スポーツタウン協議会を設立し、市内外の事業所と組織と連携を結んでいます。2017年7月に建設工事を着工、2018年2月に工事が完了。経営理念は、銚子スポーツタウンを拠点として、銚子市経済の活性化を図ることです。銚子スポーツタウンは、旧銚子市立西高校をリノベーションした宿泊・スポーツ施設です。施設内に、グラウンド・体育館・多目的に使えるお部屋を完備！ 様々なスポーツ合宿や企業研修、企業運動会に対応します。



電話：0479-23-3245 メール：ogura@choshi-sportstown.com
担当者：小倉 和俊

日本商工会議所奨励賞

STREET RUGBY

CONCEPT OVER 35
MAKE OUR DREAMS HAPPEN SINCE 17

主催：一般社団法人STREET RUGBY ALLIANCE
<https://street-rugby.com/>

ストリートラグビーとは3人对3人で時間は1分間の試合です。参加者はトライを目指し18m×7mのスペースを駆け回り、タックルの代わりにタッチでディフェンスを行い接触や転倒を防ぐ。初めての方でも安全で安心して楽しめるゲームです。フィジカルヘルスとメンタルヘルスの双方からのアプローチで健康づくりができます。頻繁な攻守の入れ替わりやボールのパスキャッチにより、空間認識機能向上や認知症等の予防等にも繋がります。また、年齢格差の無い心身の健康増進を図り、他者とのつながりを自覚し自己存在、自己価値の確認を促します。ストリートラグビーは健康寿命の延伸、まちにおけるソーシャルキャピタルの向上をテーマとしています。

3年以上にわたる継続的な発展と広がりにより昨年の開催は日本全国40箇所以上、参加者の累計は約2万人。人々が競技場に足を運ぶのではなく、フィールド自体が人々の集まる場へ設置されます。スポーツ経験の有無を問わず国籍を問わず、老若男女・障害者の人々が交流できる仕組みとしてのストリートラグビーをさらに発展させ、新しいかたちでのスポーツ振興、スポーツおけるまちづくりを実現させます。さらに2019年ラグビーワールドカップ日本開催の盛り上げにも力を入れています。



電話：080-4686-1325 メール：brilliant.mari55@gmail.com
担当者：宮本 真里

観光庁長官賞

外国人向け剣道体験ツアー SAMURAI TRIP

剣道 × インバウンド
「武道ツーリズム」最前線!世界初の本格剣道体験ツアー!

主催：株式会社パークフォース / KENDO PARK
<https://www.samuraitrip07.com/>

外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIP では、年間1,000 名を超える訪日外国人に本格的な剣道の体験アクティビティを提供している。体験アクティビティとして、剣道体験・剣道具製作工房見学・剣道レストランでの和食体験の3アクティビティを用意し、スポーツとしての側面と武道文化としての側面の双方を広く伝えている。現在、東京、大阪、京都、札幌、福岡の各都市にて剣道体験ツアーを催行しており、2017 年4 月のスタート時から世界30 カ国1,346 名のゲストを受入れ、80%を超えるゲストから5つ星レビューを獲得。

全日本剣道連盟、全日本道場連盟、スポーツ庁とも連携しており、スポーツ庁と外務省が運営するスポーツ国際貢献事業「SPORT FOR TOMORROW」のコンソーシアム会員でもある。また、NHK World、NHK、TBS、テレビ東京、スウェーデン国営放送SVT 等のテレビ局のほか、各旅行メディアや著名Youtuber 等、国内外問わずメディア出演を果たしている。今後は日本全国多都市展開のほか、海外剣道家向けの剣道キャンプの実施、海外の旅行会社やクルーズ船会社との包括提携等を行い、年間受入人数10,000 名を目指す。



電話：080-5642-3141 メール：samuraitrip07@gmail.com
担当者：永松 謙使

スポーツ庁長官賞

世界遺産×山岳スポーツ

～日光を愛する人々と地域住民で作り上げた
「日光国立公園マウンテンランニング大会」～

山岳競技を通じて、日光の伝統と文化を伝えたい

主催：日光トレイルランニング実行委員会

<https://www.nikkorun.com/>

日光国立公園マウンテンランニング大会は、「2015年9月の台風18号の被害を受けた日光・鬼怒川に元気を取り戻したい」と願う地元の皆さんと日光を愛する若者によって立ち上げたトレイルランニングの大会です。2016年11月に第1回大会を開催し、2018年の第3回大会では国内外より約1500名が参加する大会へと成長致しました。

日光は、世界遺産二社一寺を有する歴史と文化に所縁のある地域であり、大会を通じて日光の歴史を多くの人々に伝えていきたいという思いから、日光東照宮表参道をメイン会場として大会を開催しています。また、廃業した旧霧降スキー場や旧霧降牧場跡地をコースに設定し、地域に埋もれていた場所を再利用しました。商店街の方々の協力を得て地元の名産品をエイドで提供したり、日光市内の中高生や自治会等多くの方々がボランティアとして参加したりと、地域の皆さんと一緒に大会を作り上げています。今後は、一年を通じて日光の歴史と自然を体験してもらえるようなエコツーリズムの取り組みや、外国人観光客の多い日光の地の利点を生かしたプロモーション戦略等を進めていきたいと思っています。



電話：080-5510-9857 メール：sasaki.rihito@gmail.com

担当者：佐々木 理人